

【技術分類】 4－1－1 筐体関連／機構関連／分離筐体

【技術名称】 4－1－1－1 分離筐体

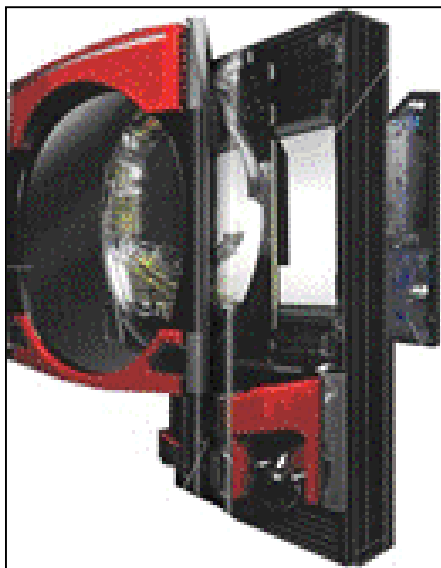
【技術内容】

現在のパチンコ台はガラス枠やゲージ盤（遊技盤）、外枠など、いくつかのユニットで構成されており、ゲージ盤の入替を行なうだけで新台となる、いわゆる面替が可能な構造となっている。

2006年にリリースされた平和製SS枠では、従来の3層構造（ガラス枠、ゲージ盤（基板・液晶）、本体）から、液晶部材の入替を不要とした4層構造（ガラス枠、アクリル盤（ゲージ盤）、本体（液晶・発射装置・賞球装置等）、基板セット）とすることにより、従来のセルにあたる透明なアクリル盤と基板セットを入れ替えることで新機種への入れ替えが可能となる画期的なシステムを開発した。

当枠の最大の特徴は、液晶を本体に組み込むことで高価な液晶部材の入替が不要となる点にあり、ローコストで新機種への入替が可能になる。

【図1】パチンコ台初となる4層構造を採用した平和製SS枠



出典：株式会社平和、CR燃える闘魂^{※1}アントニオ猪木メーカーカタログ、2006年

【出典機種】

CR燃える闘魂^{※1}アントニオ猪木：株式会社平和

※1「燃える闘魂」：株式会社猪木事務所の登録商標